

英文誌編集長 川井浩史

日本藻類学会の英文誌 Phycological Research の投稿規定につきましては、同誌 43 巻 1 号の最後部に NOTICE TO CONTRIBUTORS として掲載しており、また「藻類」42 巻 2 号、4 号にも予告の形で掲載しております。しかし印刷用のあまり聞き慣れない用語がつかわれていて分かりにくかったり、説明が不十分な部分もあるようです。NOTICE TO CONTRIBUTORS 自体は今後も、より適切なものへと改訂していくつもりですが、ここでは英文誌の編集体制などの紹介をかねて、和文での投稿案内の抄訳と英文誌に投稿される場合に特にご注意いただきたい点など、編集からの希望をまとめてみました。これをご参考にどしどし英文誌 Phycological Research に御投稿いただければと存じます。

編集の体制と基本方針

英文誌の編集には編集長（1名）、副編集長（現時点で6名、内3名は外国人会員）、編集委員（現時点で14名、内4名は外国人会員）およびのそれぞれの投稿論文を審査して下さる大勢の審査員がかかわっています。実質的な編集は編集長と副編集長でおこなっており、編集委員には編集上の基本的な方針などでご意見をいただいています。投稿論文は現在のところすべて編集長のところは投稿していただいて、それぞれの論文ごとに編集長または副編集長が審査員、著者と対応し（担当者は英文誌の中では各々の論文の1ページ目に "Communicating Editor" として記載しています）掲載へ向けての審査・改訂をおこなっています。最終的な掲載の可否の決定は編集担当者の判断に基づき編集長がおこなっています。読者が理解しにくいと考えられる部分については、編集長から出版社が最終的に一部修正する場合がありますのでご了承ください。審査員は編集担当者がそれぞれの論文ごとに、専門が近く適切と考えられる研究者に依頼しており、必ずしも藻類学会会員とは限りません。審査員の名前はこれまで通り各巻の最終号にまとめて掲載する予定です。掲載する論文の種類は形式上以下の通りですが、内容的には藻類学に関係するものすべてを対象としており、掲載

の可否は学術的に価値があり、かつこれまでに別のところで印刷発表されていないことを前提としています。論文は投稿前に英語を母国語とする方または英語を常用している方の校閲を経て、文法上正しくまた理解しやすいものにしてから御投稿くださることを強く希望します。このことは最終的にその論文、その論文を掲載した雑誌の評価にかかわるほか、適切な審査をおこなう上でも重要です。もし英文校閲を依頼するのに適当な方がおられない場合には、Phycological Research に投稿される原稿であることを前提に、編集委員会から英語を母国語とする会員に割安で英文校閲を依頼することもできますので投稿前に事前に編集長までご連絡ください。これは外国人会員からのご厚意によるもので、この場合の英文校閲の費用は現在のところ、通常原稿でA4ダブルスペース1ページあたり1,000円を上限としています。受理された原稿は印刷前に出版社が最終的なフォーマットと英語のチェックをおこない、必要に応じて校正しますが、その際、英語の修正にかなりの時間を要した場合には別途著者に請求する場合があります。通常の場合、このようなことはおこなわないと考えますが、これを回避するためにも投稿前または審査後の著者改訂時の英文校閲にご協力ください。

論文のスタイル

英文誌は基本的に 1) Original Research Article（原著論文）；2) Research Note（短報）；3) Review Article（総説）；4) Book Review（書評）を掲載します。Original Research Article と Research Note の違いはおもに論文の長さ（前者で刷り上がり12ページ程度まで、後者で刷り上がり4ページ程度まで）と、それにともなうフォーマットの違い（以下の章参照）にあり、学術的な価値で両者を区別しているわけではありません。Book Review を除きすべて原則として2名の審査員の審査を経て掲載の可否を決定しますが、Review Article に関しては投稿を準備される段階で編集長または副編集長にご相談ください。Book Review は編集長または副編

集長が掲載の可否を判断します。

論文の投稿

Original Research Article, Research Note, Review Article の投稿に際してはオリジナル1部のほかコピー2部(あわせて3部)を編集長(657神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学内海域機能教育研究センター 川井浩史; 電話 078-803-0552; ファックス 078-803-0488; 電子メール kawai@gradura.scitec.kobe-u.ac.jp) へお送りください。原稿は引用論文を含めダブルスペースでA4の用紙の片面だけに印字してください。その際、右揃え(justification)しないでください。学名は可能であればイタリックで印字し(困難であればアンダーラインでも可)、文章と文章の間のスペース(ピリオドと次の文章の間の間隔)は一つにしておいてください。これらの指定は、掲載を決定した論文については可能な限り印刷のためのワープロファイル(フロッピーディスク)の提出をお願いしており、その際のフォーマットにあわせるためです。またそれぞれのページ(図、表を含む)の右端上に通し番号をいれてください。

表紙には論文のタイトル、すべての著者の著者名(フルネーム)、所属と住所、40文字以下の短いランニングタイトル(論文の上に印刷される省略したタイトル)をいれてください。論文のタイトルに分類群名が含まれる場合は目、綱などの分類上の帰属が必要ですが、種名にともなう著者名はタイトルにはいれなくてください。また、編集時や印刷時のミスを回避するため、なるべく表紙に論文中の図、表の総数とページ数もいれてください(例: Figs 1-24, Table 1-3; 3 photographic plates, 2 line drawing plates)。次のページにSUMMARY(要約)をいれてください。SUMMARYは300文字以下で、簡潔にその論文の対象とする事柄と発見の具体的な内容をまとめてください。SUMMARYは文献データベースなどで使用されることを考えて、この部分だけでその論文の内容がある程度具体的に分かるようにすることが必要です。論文であつた主要な分類群名とその著者名もいれてください。ただし引用文献はいれなくてください。また本文中の内容と用語や数値などにくいちがいがないように留意してください。英文誌に掲載された論文については、和文誌「藻類」に和文摘要を掲載しますが、その原稿は原則として受理後に編集担当者から依頼するまで不要です。この際、和文摘要の内容とSUMMARYの内容が異なるようにしてしてください。次に3-10語程度のKey wordsをアルファベット順に並べてつけてください。

この部分も文献データベースで使用されることを前提としています。INTRODUCTIONではその研究を行った背景と目的を記述し、研究の結果含めなくてください。INTRODUCTION以下の本文中で種の階級の分類群名が使われたときには、基本的にすべての種名につき初めて文中に現れたときに属名、種小名、著者名をいれてください。また、同じパラグラフ内で繰り返し使用される場合を除いて属名は省略せずに書いてください。MATERIALS AND METHODSでは研究に用いた材料と実験や観察の方法を具体的に簡明に記述してください。単位の表現についてはSI単位に従いますが、具体的にはPhycological Research掲載論文での用法を参考にしてください。これらの表現方法について統一のために編集で一部変更させていただくことがありますのでご了解ください。RESULTSでは研究の結果得られた客観的事実を記述してください。実質的に同じ内容の結果を繰り返し述べることはさげ、また推定を含む内容などDISCUSSIONで記述すべき内容を含めないよう留意してください。RESULTSの中には引用文献を含めなくてください。DISCUSSIONではINTRODUCTIONで述べた仮説や背景などに留意してRESULTSで述べた結果に対する考察を述べてください。ACKNOWLEDGEMENTSでは研究上の助力、科研費等の研究費に関する援助などに対する謝辞を述べることができますがなるべく簡明に書いてください。匿名の審査員に関する謝辞は含めなくてください。また他の出版物などですでに印刷発表されている図版などを使用する場合には、著者の責任で出版社などの許諾を得、その旨をここに記してください。RESEARCH NOTE(短報)では上で述べた見出し(INTRODUCTION, RESULTS, DISCUSSION, ACKNOWLEDGEMENTS)は必要ありませんがSUMMARYとKey wordsはつけてください。REFERENCEでは本文、図、表の中で引用したすべての引用文献を著者のアルファベット順に記述してください。著者名が2名の場合には本文中、REFERENCE中でも"and"でつなぎ、3名以上の場合には本文中では"et al."とし、REFERENCE中では全員の著者名を記してください。Phycological Research 43巻1号のNOTICE TO CONTRIBUTORS中では引用の例の中で"&"を使用していますが"and"に改めます。本文中で括弧の中で複数の論文を引用するときは年代順に並べ、また同じ著者で同じ発表年度のもの複数ある場合は1994a, 1994b(本文中では1994a, b)のように引用してください。引用の例についてはNOTICE TO CONTRIBUTORSまたはPhycological Research掲載論

文での用法を参考にしてください。表 (Table) は本文とは別の用紙に印字し、それぞれに通し番号と簡潔な説明をつけてください。表中に枠線はいれなくてください。Table は基本的に印刷時に新たに版組みします。図版 (Figure) には写真 (Photograph) と線画 (Line drawing) が含まれますが、いずれもそれぞれの図にアラビア数字で通し番号をふってください。プレートとして組んだ場合でも Fig. 1a, b, c, d とするのではなく Fig. 1, 2, 3, 4 としてください。写真は原寸大で印刷されますので印刷時の段組みの幅を考えて、幅は1段 (80 mm) または2段 (167 mm) にあわせてください。またプレートの高さは図の下に説明をいれるスペースを残すため 180 mm 以下としてください。原則としてすべての写真、表にスケールバーとそのスケール (バーの示す長さ) をいれてください。図の説明中に倍率を示す表示 (x 100 など) は認められません。写真でプレートを組む場合、写真と写真のあいだに隙間をあげないようにしてください。印刷時の各写真間の隙間を作る白いテープ等を貼る必要はありません。この作業は印刷時に印刷業者がおこないます。写真のプレートなどの原稿には汚れやインスタントレタリング

のはがれを防ぐため必ずトレーシングペーパーなどでカバーをつけてください。審査のための写真のコピー (2部) は、オリジナルとはほぼ同等の解像度の写真による複製、または写真品質のカラーコピー機によるコピーなどに限ります。コピーの品質が審査に不十分であると判断した場合は、審査の前に著者に返却することがあります。カラー写真での掲載を希望する場合は審査用のコピーもカラーで作ってください。オリジナル原稿がカラーでも審査用コピーが白黒の場合は白黒での掲載を前提としてと解釈します。カラー写真の印刷経費は著者負担となります。カラーページの印刷経費は現在のところ1ページあたり750 USドルですが、同じ号に複数のカラーページが含まれる場合これより安くなることもあります。線画は白い用紙に黒いインクを使用して鮮明に描いてください。線画は印刷時に縮小可能ですが、原稿は郵送上の制約からA4版とってください。写真と線画の原図、コピーには裏に上下の指示と著者名を記入しておいてください。図版の説明 (Figure legend) は別の用紙に番号順に記載し、図版中の略語などの説明が抜けていないように留意してください。

おわびと訂正

和文誌「藻類」43巻1号掲載の英文誌 *Phycological Research* 43巻1号掲載論文和文要旨中、「難波信由：アカモク (褐藻, ヒバマタ目) の卵放出と幼胚の成長」は英文誌43巻1号印刷の遅れと、編集と出版社との連絡上の行き違いとのために実際には英文誌43巻2号の掲載となりました。おわびして訂正します。

英文誌編集長 川井浩史

和文誌ワープロ入力 of 注意 (しつこいようですが.....)

- 英数字は半角で入力されているか確認してください。
- 句読点は「,」と「。」を使用してしているか確かめてください (「、」と「.」は不可)。
- 英文中で全角のスペースは絶対に使用しないでください。" Å@" のように文字化けします。
- 日本語フロントプロセッサまたはワープロ固有の外字は使用しないでください。ミリリットルは半角のmlで、面積の平方センチも半角でcm²と入力し、また株式会社の略は「全角かっこ」と「株」で「(株)」とってください。(代)、(有)、(財)なども同様です。丸付き数字や矢印も使わないで下さい。どうしても外字の使用が必要であれば、その旨原稿中に明記して下さい。
- パーセントは全角の「%」でなく、半角「%」を使用してください。
- 全角の「℃」, 「μ」などを使用した場合は原稿中に朱でしるしをつけてください。

本号には和文誌の投稿規定は掲載していません。投稿にあたっては、43巻1号をごらんください。

和文誌編集委員会